

# 児童用学校生活アンケートより

2024/02/28

教務部

学校生活アンケートを始めて11年目となります。結果より見えてくる児童の様子についてまとめました。

考察においては大きく肯定的な回答（そう思う＋少し思う）と否定的な回答（あまり思わない＋そう思わない）に分けて行いました。学年別の細かい資料は別データとなります。表は斜めに見ると同じ児童を見ることができま  
す。（昨年度5年生は今年度6年生です。）

## 1. 回収率

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	全体
児童数(人)	127	132	125	144	123	137	788
回収人数(人)	119	117	112	124	109	124	705
回収率(%)	94%	89%	90%	86%	89%	91%	89%

## 2. 昨年度からの変更点

②今年度、研究テーマが国語科から算数科になったため、設問が「算数の時間に、問題を読み取って絵や図、式に表して考えることができましたか。」という内容に変更しています。

## 3. 結果の考察

### ○成果

・90ポイントを超えていた項目（赤字にしています）

- ①授業は分かりやすいですか
- ③タブレットはルールを守って、正しく使うことができますか
- ⑥そうじ時間はいっしょうけんめいそうじをしていますか
- ⑦友だちとなかよく協力して学校生活をおくれていますか
- ⑧学校でのちの大切さを学んでいますか

・①の授業や学習内容について評価されていることは、授業の準備から丁寧に行い、伝えたい事が伝わっていると結果だと思います。

・③のタブレットは決まりを守って正しく使用するという点においても、規範意識が高く先生方の日々の指導が活きていると感じました。また、斜めに見た場合からも、規範意識の高まりが見取れます。

### ●課題

・学習について

②算数の時間に、問題を読み取って絵や図、式に表して考えることができましたか

今年度より設定された研究主題になるが、結果は88ポイントでした。算数の読解力について、初めての研究であったこともあり、90ポイントには到達できなかったです。

来年度は今年度の反省をもとに、算数の読解力について更なる研鑽を積みたいです。

#### ・生活について

##### ④廊下は走らず歩いていますか

昨年度と同様に、全体として低いです。

走っている児童はかなり多くいます。特に開錠後に教室に向かう途中、休み時間に外に出るとき、下校時に教室から昇降口に向かうときなど、走っている児童が多く見られます。引き続きの学級指導が必要かと思えます。

##### ⑤あいさつはすすんでいますか

今年度からマスクをしない状況も増えることから昨年度よりはあいさつがしやすい環境になるため、元気に挨拶できる機会が増えるので、結果が良くなると考えましたが、どの学年も70ポイントから90ポイントあたりの結果となり、全体としては昨年度よりもポイントが下がってしまいました。

基本的にはあいさつができる児童が多く感じますが、冬になって寒くなってきたり、学期途中で慣れてきたところに挨拶がおろそかになる傾向があります。教師が率先してあいさつをしたり、朝から〇人以上あいさつをしようといった取組をしたりするなど、これまで以上にあいさつに対して前向きになるような指導などが必要でしょう。

##### ⑨学校は楽しいですか。

昨年度の90ポイントから3ポイントではありますが、下がってしまった項目です。

学校が楽しくなるためのポイントには、信頼できる先生、わかる授業、安心できる教室環境、規範意識の醸成など、さまざまなことが挙げられます。児童が楽しく学校生活を送ることができるようになるためにも、居心地のよさを感じられる学級づくり、学校づくりを改めて意識することが大切です。

#### ・運動について

##### ⑩体育などで、運動することは楽しいですか。

昨年度の91ポイントから4ポイントではありますが、下がってしまった項目です。特に高学年でポイントが低くなる傾向があるようです。

楽しい体育の授業のポイントには、やりたいと思えるような目標があること、質的にも量的にも運動が保証されていること、友達と楽しく関わり合えること、安全に活動ができることなど、さまざまな項目があります。学年グループでしっかりとルールや環境を整え、学年に応じた、楽しい授業の計画を立てられると良いです。

##### ⑪休み時間に、外で元気にあそんでいますか。

今年度はマスクをとって遊びやすくなることや、日々取り組んでいる体育の授業や体育委員会のイベントの中でより多くの児童が外で遊べるモチベーションを上げることができるということで、ポイントが上がるだろうと考えられていました。しかし、全校の平均として71ポイントなので、他の項目と比べてかなり低い結果となりました。昨年度よりも4ポイント下がっています。学年が上がると外遊びが減る傾向がありますが、特に4～6年生になると、ガクッとポイントが下がってしまいました。

児童の放課後や休日の多様な過ごし方や、タブレットやゲーム機の普及などにより、昨今は運動量が減ってしまっている傾向になる。また、強制的な全体遊びをしんどく感じてしまう児童、外遊びよりも本を読んだり友達とゆっくりと過ごしたい児童など、さまざまな児童がいます。休み時間に外で遊ぶ楽しさや大切さを感じる取組が必要となります。教師側からどんだん声をかけて体を動かすことも大切です。

※この結果の考察は教務部からアンケートを見た一面です。各学年、部会など立場を変えて考察することで、また違った成果や課題が見えてくるかと思います。忙しいのは重々承知していますが、学年会や定例部会での今後の取り組みについて話題に挙げてみてください。学校、学年、学級運営の具体的な改善になると思います。